

発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名
50 大修館	論 I 050-901	Genius English Logic and Expression I Revised

編集の趣旨

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 2技能3領域を一体的に育成する

- ・日常のおよび社会的な話題やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・話したこと、書いたことを生徒同士で見直し、さらによくすることができるよう、活動の手順を工夫した。
- ・日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの構成や展開を把握することができるように、確認問題を工夫した。

(2) 多様な表現のインプットを与える

- ・トピックを高校生に身近なものから社会的・国際的なものまで用意し、それぞれのトピックについて自分の考えや意見を表現しやすいよう、そのトピックを扱った文章や表現のためのヒントを豊富に用意した。
- ・各Unitのトピックに関連した語彙や表現をUnit末にまとめ、話すことや書くことの言語活動の際に参照しやすくした。
- ・教科書巻末に機能別表現を用例とともにまとめた。

(3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる

- ・文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造を使った文章や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解しやすいよう工夫した。
- ・話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

(4) 指導しやすく、学びやすい教科書

- ・生徒の学習意欲を高めるため、生徒に身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的・国際的な話題へと視点を広げられるよう構成を工夫した。
- ・Unit内のそれぞれのパートが有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・活動のステップを細かく分け、生徒が無理なく取り組めるよう工夫した。
- ・二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカードなどを利用できるようにすることで、主体的・自律的な学習が可能になるよう工夫した。

■各Unitの構成■

(1) 1ページ目

- ・ Unit Goal : Unitの目標を確認する。
- ・ Describe the Picture : Unitのトピックに関連した写真を英語で描写する活動。描写する際のヒントとなるよう、質問を2つ用意した。
- ・ One-Minute Chat : Unitのトピックについてペアでスモールトークする活動。右には表現のヒントを示した。

(2) 2ページ目

- ・ Model 1 : Unitのトピックに即した英文。そのUnitで学習する文法事項を含んだ文の頭には丸数字を配し、続く Put It into Focus で取り上げている文法事項と対応させた。
- ・ Check It Out : Model 1 の内容を確認するリスニング問題。
- ・ Sound Tips : Model 1 を音読する際に注意すべきことを簡潔に説明した。

(3) 3ページ目

- ・ Put It into Focus : Unitで学習する文法事項のかんたんな解説と基本例文。
- ・ Work It Out : Put It into Focus で取り上げた文法事項を使った練習問題。問題文はそのUnitのトピックに関連した内容にした。

(4) 4ページ目

- ・ Model 2 : Unitのトピックに即した、Model 1 とは異なる形式の英文。4ページ目の Try It Out の活動を行う際の参考になるように配慮した。
- ・ Function : Model 2 で使われている機能表現についての解説。どのような場合に使うのに適しているかを簡潔に示した。巻末の Functional Expressions も参照できるようにそのページを記載した。
- ・ Think It Through : Model 2 の英文の構成や展開を整理する問題。

(5) 5ページ目

- ・ Try It Out : Unitのトピックについて、ここまでインプットした表現を参考に、スピーキングやライティングでアウトプットする活動。手順を細かく分け、また、時間や分量を明示し、活動しやすいよう工夫した。
- ・ Check : Unitの学習に入る際に Unit Goal で確認した目標をどれだけ達成できたかを確認する。pp. 4-5のUnit Goalsの一覧に自己評価を書き込む。

(6) 6ページ目

- ・ Useful Words, Phrases, and Expressions : Try It Out で使える語彙・表現をまとめた。新しい語彙や表現をインプットとして覚えることができるように、チェックボックスを設けた。また、アウトプットの際にはここを参照することによって、活動に幅を持たせることができる。
- ・ Further Expressions : Try It Out で使える機能表現を例文とともに示した。巻末の Functional Expressions も参照できるようにそのページを記載した。
- ・ Check It Out のスクリプト : 2ページ目の Check It Out のスクリプトをここに掲載し、聞き取りができたかどうかを確認できるようにした。
- ・ Unit内の見開きに1つ配したQRコードからは音声やフラッシュカードを利用することができる。

■Unit以外の教材・資料等■

(1) Classroom English

授業中によく使う表現を、「先生から生徒」「生徒から先生」「ペア／グループで」の別にまとめた。QRコードから利用できる音声も用意した。

(2) Unit Goals

各Unitの目標の一覧。教科書を終了した後に生徒が自分の成長の度合いを一目で把握できるよう工夫した。

(3) 英文法の基礎知識

中学で学習した英文法の基礎をおさらいする巻頭コラム。

(4) Functional Expressions

Unit内のFunctionおよび、Unit末のFurther Expressionsで取り上げた機能別表現を用例とともにまとめた。

(5) Useful Expressions for Presentations, Discussions, and Debates

プレゼンテーション、ディスカッション、ディベート活動の際に使える表現をまとめた。関連するUnitの番号を示した。QRコードから利用できる音声も用意した。

(6) Useful Expressions to Describe Graphs

プレゼンテーションなどで、グラフを示す際に便利な表現を、グラフの種類（棒・折れ線・円）ごとにまとめた。

(7) How to Write Emails and Letters

メールや手紙、カードの書き方をまとめた。メールと手紙で異なる点、相手によって工夫したほうが良い点を簡潔に示した。

(8) Model 1, 2 日本語訳例

各Unit Model 1, 2の日本語訳例。テキストタイプに適した訳になるよう、文体を工夫した。

(9) 発音記号一覧

代表的な発音記号と語彙例の一覧表。QRコードから利用できる音声も用意した。

(10) Punctuation

ライティング活動の際の参考になるよう、句読点をまとめ、かんたんな説明を付した。